

施工上の留意点チェックシート

このチェックシートは、テールアルメ工法(コンクリートスキンタイプ)を施工するにあたり、安全で確実・迅速に施工を実現する為、施工を管理・点検するポイントをとりあげたものです。

施工の現場においては、本書を使用し所定の施工方法を順守することは勿論のこと、安全な施工を行うよう十分な注意を払っていただきますようお願いいたします。

チェックシートの構成

1. 施工準備……………施工前の準備事項についての確認です。
2. 施工……………施工全般における点検・確認項目です。
3. 施工管理……………施工管理項目です。
4. その他

1 施工準備

○、×の記載

No.	項目	確認	処置対策の内容
1	施工ビデオ・施工要領書による施工説明会は実施したか。		
2	現場は施工要領書を読んで施工の流れを把握しているか。		
3	準備資材の用意はできているか。 ・スパーサー ・吊上げ用ロープ ・くさび ・リン木(部材仮置用) ・モルタル材料 ・支保部材 ・水準器 ・クランプ ・その他		
4	起工測量によって設計図面と現地の整合を確認したか。		
5	所定の掘削が行われているか。 ストリップ敷設ができるだけの幅が確保されているか。		
6	掘削面の安定度は充分か(崩落の怖れはないか)。		
7	掘削面に湧水は見られるか。		
8	盛土に先行して基礎地盤の状態を確認したか。		
9	盛土材料は設計によって指定されているものが準備されているか。 (盛土材の土質試験は実施されているか?) 当現場の設計条件($\gamma=$)($\phi=$)($C=$)		

No.	項目	確認	処置対策の内容
10	資材置場は充分確保されているか？		
11	テールアルメ部材の搬入は終了したか？ (第1回目搬入分、副資材)		
12	架台使用の場合の支持力確認は実施されているか？		

2 施工

○、×の記載

No.	項目	確認	処置対策の内容
1	基礎コンクリートは金ごてで仕上げているか。(設置高の確認)		
2	基礎地盤のトラフィカビリティは充分確保されているか。		
3	湧水などの排水対策は充分か。		
4	コンクリートスキンの設置位置は確認したか。 ・横断位置 ・縦断位置 ・延長 ・コーナー		
5	最下段スキンには転倒防止の支保工が設置されているか。		
6	間隔定規を用いて組み立てているか。		
7	クランプは必ず使用しているか。		
8	カップラーはクランプによってスキンが固定されるまで、外していないか。		
9	最下段スキン設置後、基礎コンクリートとの隙間にモルタル(空練り、固練り)を充填しているか。		
10	壁面の垂直度の調整は充分理解しているか。 盛土側に何パーセント傾斜させて施工しているか。	%	
11	ストリップは設計図面に示された長さのものを使用しているか。		
12	ストリップを折り曲げたり、切断したりしていないか。		
13	ボルトナットは充分締め付けられているか。		
14	ボルトとストリップに緩みはないか。		
15	縦目地は、透水防砂材によって確実に覆われているか。		
16	盛土施工について ・まき出しは、ストリップのたるみを盛土背面の方向へ逃がすように慎重に行っているか。 ・壁面側1.5mの人力施工部分は充分な締固めを行っているか。 ・コーナー一部等の狭隘部は特に念入りに施工しているか。 ・転圧時、盛土の仕上げ面は、充分締まっているか。		

No.	項目	確認	処置対策の内容
17	盛土材の土質に適した転圧重機を使用しているか。 ・砂質土……タイヤローラー ・礫質土……振動ローラー		
18	転圧後、盛土の層厚は25cm以下になっているか。		
19	1層当たりの転圧回数は	約 回	
20	転圧面は水平に仕上がっているか。		
21	ストリップの交差部には、緩衝材として盛土材料を挟み込んでいるか。		
22	重機走行について ・壁面から1.5m以内に近づけていないか。 ・壁面と平行に走行しているか。 ・盛土材のまき出し等はスキン側から行っているか。 ・急停止、急旋回させてないか。 ・ストリップ上を直接走行していないか。		
23	2段目以降のスキン設置について ・くさびの位置、使用方法は正しいか。 ・次のスキンを設置する際に、取り外しているか。		
24	水平目地材は中央に2枚付き合わせて設置されているか。		

3 施工管理

No.	項目	確認	処置対策の内容
1	当現場のボーリング調査等の試験は行われているか。		
2	盛土の現場管理密度試験は行われているか。 ・当現場の密度試験は最低何回必要か。(1回/500m ³)		
3	盛土の層圧管理は行っているか。		
4	写真管理は行っているか。		
5	垂直度の管理はスキン設置毎に行っているか。		

4 その他

No.	項 目	確認	処置対策の内容
1	施工業者は施工の手順を充分理解しているか。		
2	安全対策への注意を促したか ・ 壁前面への転落 ・ 吊り込み部材の落下 ・ カップラーの使い方 ・ 下段スキンの支保工 ・ その他		
3	盛土材料は問題ないか。 ・ 土質 ・ 含水比 ・ その他		
4	今後懸念される問題点は ・ _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____		_____ _____ _____ _____
5	その他、引継ぎ及び特記事項		